【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成30年12月20日(2018.12.20)

【公開番号】特開2017-38183(P2017-38183A)
【公開日】平成29年2月16日(2017.2.16)
【年通号数】公開・登録公報2017-007
【出願番号】特願2015-157737(P2015-157737)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　1/04　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　1/00　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　27/62　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　27/50　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　1/12　A
Ｈ０４Ｎ　1/00　C
Ｇ０３Ｂ　27/62
Ｇ０３Ｂ　27/50　B

【手続補正書】
【提出日】平成30年11月5日(2018.11.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
原稿トレイにセットされる原稿を給紙する給紙手段と、
給紙された前記原稿を搬送し、排紙する搬送手段と、
搬送される前記原稿の画像読み取りを行う画像読取手段と、
読み取った画像を外部出力するための出力手段と
を備え、
前記搬送手段による前記原稿の排紙が完了してから、少なくとも前記画像読取手段が読み取った画像データの外部出力を前記出力手段が完了するまでの間、前記搬送手段を駆動し、前記給紙手段の駆動は停止させている原稿待機制御を実行することを特徴とする画像読取装置。
【請求項２】
前記画像読取手段が読み取った画像データの外部出力を前記出力手段が完了した後で、前記給紙手段の駆動を再開することを特徴とする請求項１に記載の画像読取装置。
【請求項３】
前記原稿待機制御は、前記原稿の排紙が完了または前記画像データの外部出力が完了してから所定時間が経過するまでの間に亘って実行されることを特徴とする請求項１または２に記載の画像読取装置。
【請求項４】
前記原稿トレイに原稿がセットされたことを検知する原稿検知手段を備え、
前記原稿の排紙完了後または前記画像データの外部出力完了後、前記原稿検知手段により原稿が検知されているときに、前記原稿待機制御を実行することを特徴とする請求項１から３のいずれか一項に記載の画像読取装置。
【請求項５】

前記搬送手段は、前記画像読取手段の下流側近傍に一対のみ設けられた搬送ローラ対を有し、前記搬送ローラ対によって、前記画像読取手段によって読み取られた原稿が前記画像読取装置から排紙されることを特徴とする請求項４に記載の画像読取装置。
【請求項６】
前記原稿待機制御を実行させる第１の駆動方式と、
前記搬送手段による前記原稿の排紙が完了したときに、前記搬送手段の駆動を止める第２の駆動方式とのいずれか一方を選択できる駆動方式選択手段を備えることを特徴とする請求項１から５のいずれか１項に記載の画像読取装置。
【請求項７】
前記原稿の排紙が完了または前記画像読取手段が読み取った画像データの外部出力を前記出力手段が完了してから所定時間が経過すると、前記原稿待機制御を終了して前記搬送手段の駆動を停止し、
前記原稿待機制御を繰り返し実行するときに、
繰り返し実行された読み取り処理における画像データの外部出力を完了してから前記給紙手段の駆動が再開されるまでの時間のうちの１つ以上を基に、
次回の読み取り処理における画像データの外部出力を完了してから次の前記搬送手段の駆動を停止するまでの前記所定時間を決定することを特徴とする請求項１から６のいずれか１項に記載の画像読取装置。
【請求項８】
前記画像読取手段への画像読み取りを所定枚数毎に行う枚数指定スキャンモードを有し、
前記原稿待機制御を、前記枚数指定スキャンモードの実行中に実行することを特徴とする請求項１から６に記載の画像読取装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
上記目的を達成するために、本発明の画像読取装置は、原稿トレイにセットされる原稿を給紙する給紙手段と、給紙された前記原稿を搬送し、排紙する搬送手段と、搬送される前記原稿の画像読み取りを行う画像読取手段と、読み取った画像を外部出力するための出力手段とを備え、前記搬送手段による前記原稿の排紙が完了してから、少なくとも前記画像読取手段が読み取った画像データの外部出力を前記出力手段が完了するまでの間、前記搬送手段を駆動し、前記給紙手段の駆動は停止させている原稿待機制御を実行する。